

1.団体概要

2.方法

3.結果

ふりかえり評価プロセスシート

認定NPO法人ぎふハチドリ基金
公開：2021年4月30日

団体名	認定NPO法人ぎふハチドリ基金
設立年	2012
所在地 *市区町村までで 結構です	岐阜県岐阜市
活動地域	岐阜県内
スタッフ数	有給常勤職員 : 0名 有給非常勤職員 : 0名 役員 : 14名 ボランティア : 11名
事業概要 *簡単に結構です	若い世代（子ども・若者・子育て家庭）が抱えている困難をサポートする活動に対する助成事業



1.団体概要

2.方法

3.結果

ふりかえり評価プロセスシート

認定NPO法人ぎふハチドリ基金
公開：2021年4月30日

テーマ <small>*ふりかえりの対象や期間、観点であり、目的ではありません</small>	設立して8年。これから、ぎふハチドリ基金を どう発展させたい？ ハチドリcafé、どうしよう？
使用手法	田の字法
実施日時	2021年2月21日(火)19-21時
実施場所	オンライン（ZOOM）
参加者数・属性など <small>※具体的に記入してください</small>	実行委員会メンバー6名 （地域のNPOの役員・スタッフ、ぎふハチドリ基金のボランティアスタッフ）
事前に準備した資料等	ハチドリcaféについて記載した会報誌

評価の実施風景
事前準備の内容
事前アンケートの内容など
（レイアウト自由）

必須チェックリスト

○

参加性

役員や職員だけでなく、会員・受益者・支援者など多様な属性が参加した。
*モニター実施時は必須ではありません

水平性

立場や役職と意見の重要度を切り離すフラットな場づくりのため、第三者的なファシリテーターを配置した。

○

多様性

ホワイトボードや付箋などを活用して、ステークホルダーの多様な意見や価値判断を、可視化して共有し、違いを顕在化させた。

○

包摂性

事後アンケートで「自分の気持ちが全く受け止められていなかった・声が聞き入れられていなかった」と答える人がいなかった。

○

公開性

組織の透明性や説明責任の向上のため、本レポートをWeb上で公開した。

○

参加者コメント

*事後アンケートから転記してください

- ・評価というと、第三者からのというイメージが強かったですが、言葉で語り合う中で、意味や価値がだんだん明確になっていく過程を少し感じることができました。
- ・改めて振り返ることが出来た。みんなの考え・気持ちを聞くことができた良かった。口にすること、表現することが大切だと思った。改めて気づくことがたくさんあった。
- ・それぞれの悩みや思いを話せるところは良いと思います。お互いの意識や思いの違いを認識した後、その先、③や④のステップで、気持ちを一つにしていくことができるのかが気になりました。このままでは消化不良?になりそうです。
- ・今まで感じていたが、向き合ってこなかった自分の課題に向き合う機会になりました。

総括所感

【記入者（役職・氏名）：事務局長・山田朋子】

今までなかなか聞けなかった「思い」を出し合うことができて良かったです。第三者の客観的な視点が入ることにより、新たな気づきがありました。まだ出し足りない部分があったので、思いや考えを十分に出し合って、価値観を共有するまでの過程を体験したいと思います。